



## 国際紛争対応における実務上のポイント ～米国訴訟及び国際仲裁の現場から企業法務担当者への practical tips～

米国での訴訟や国際仲裁に巻き込まれた際、企業の法務担当者が気をつけるべき諸点、事前に採っておくべき対策等について、国際紛争の第一線で活躍する手塚裕之弁護士が、様々な観点から実務上のポイントを解説します。

**日時:** 2019年3月12日(火) 14:30～16:00 (レセプション 16:00～)

**場所:** 日本クラブ 5F (Sakura Room, 145 West 57<sup>th</sup> Street)

**会費:** 無料(会員)、\$20(一般)

### セミナーの内容:

1. 米国カウンセルの選び方、協働の仕方
2. ディスカバリ/文書開示要求への事前対策
3. ICC、AAA-ICDR、SIAC の手続きの違いと近時の規則改正
4. JCAA の規則改正の落とし穴
5. 仲裁人選定時の注意点



てづか ひろゆき

手塚 裕之 パートナー (西村あさひ法律事務所)

大手企業、銀行、証券会社、保険会社、ニュースメディア等、国内外の様々な企業の代理人を務め、コーポレートガバナンス、知的所有権関連、合併事業、ライセンス、代理店契約、独占禁止法、製造物責任、国際倒産事件等の企業問題全般の解決に携わる。また、JCAA、ICC、ICDR、KCAB、VIAC、SIAC等の規則による国際商事仲裁や国内外の裁判所での国際訴訟を数多く経験(主席仲裁人事件を含む)。2006年にはGlobal Arbitration Reviewが選ぶ45歳以下の世界の45人の国際仲裁専門家に選ばれ、2007年、2008年にはInternational Who's Who of Business Lawyersが選ぶ世界を代表する商事仲裁専門家弁護士に選ばれる。現在、ICC Court of ArbitrationおよびSIAC Court of Arbitrationのメンバーとして活動。ICC Institute of World Business Law Council Member。



やまぐち かつゆき

山口 勝之 執行パートナー (西村あさひ法律事務所 ニューヨーク事務所)

M&A/コーポレート法務全般にわたって、多くの内外の依頼者に対して幅広いアドバイスを提供。特に日本企業による米国・ASEAN諸国における企業買収や、海外進出の支援業務を多く手がける。世界各地の現地法律事務所とのネットワークを駆使し、複数国にまたがる複雑な案件の処理を得意とする。



さいとう あずさ

齋藤 梓 カウンセル (西村あさひ法律事務所 ニューヨーク事務所)

国内外の企業を代理して、国際仲裁および複雑な訴訟案件に関与。製薬、自動車、保険等様々な業界における企業間の国際的な契約紛争への対応等を主要な業務分野とする。

セミナー「国際紛争対応における実務上のポイント」 March 12, 2019 14:30～16:00

Name: \_\_\_\_\_ Title: \_\_\_\_\_ Tel: \_\_\_\_\_ Email: \_\_\_\_\_

Company: \_\_\_\_\_ Number of Attendees: \_\_\_\_\_

Japanese Chamber of Commerce and Industry of New York Inc.  
145 West 57<sup>th</sup> Street, New York, NY 10019 • (212)-246-8001 • [info@jcciny.org](mailto:info@jcciny.org)